

イーブン



2025.9

Vol.62



森田市長へのインタビューは2ページから!!

用語解説「ジェンダー」

男女共同参画は英語で「ジェンダー・イクオリティ (Gender equality=ジェンダー平等)」と表現されます。「ジェンダー」とは、社会的に作られた性別のことで、生まれたときに決まる生物学的性別(男か女か)とは異なり、社会や文化の影響で形作られます。ここには社会的な役割や期待も含まれます。

「男性は強くなければならない」「女性はサポート役に回るべき」といった考え方は、ジェンダーに基づく固定観念の一例です。このような固定観念は、男性が精神的なサポートを求めることに抵抗を感じさせたり、女性が管理職に就くことを難しくさせるなど、不平等な状況を生む可能性があります。

社会全体でこうした固定観念を見直し、性別にかかわらず誰もが平等な機会を持てるようにすることが「ジェンダー平等」を推進することになります。

ジェンダー平等の実現は、21世紀の世界の重要課題です。誰もが自分らしく生きられる社会を目指しましょう。



川越市キャリア & ライフサポーター共同宣言企業のご紹介

本市と共に、働く人の仕事(キャリア)や人生(ライフ)を応援する「川越市キャリア&ライフサポーター共同宣言企業」は、令和7年6月末現在、45の企業・団体となっています。

ここでは、届け出順に、共同宣言企業と、そこで働く人のキャリア(仕事)やライフ(人生)の充実を応援するための取組をご紹介します。

共同宣言の詳細やお問い合わせは、産業観光部雇用支援課へ



株式会社 フロロコート



業 種：製造業
所在地：川越市芳野台
1-103-37

企業・団体紹介

日本初のふっ素樹脂コーティングに成功した東京シリコングループの中核会社です。

ここに注目!

- ・定年(65歳)以降も多様な働き方の希望に対応して勤務形態を選択でき、70歳以降も働き続けることが可能です。
- ・男性の育児休業・介護短時間勤務取得実績など安心して働ける環境を整えています。
- ・セミナー参加、資格取得、通信講座にかかる費用を会社が負担し、学び続ける意欲を支えています。

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 埼玉西北支店



業 種：保険業
所在地：川越市脇田本町
1-7
川越西口ビル3階

企業・団体紹介

個人・法人向けの損害保険事業を行っています。事業活動を通じて、安心と安全を提供し、活力ある社会の発展に寄与しています。

ここに注目!

社会環境の変化・多様な働き方のニーズに応え、育児・介護等との両立など多様な社員のチャレンジを支える短時間勤務・シフト勤務・在宅勤務制度や、年次有給休暇を1時間単位で使用できる時間有給制度等を導入しています。有給休暇の計画的付与制度による積極的な休暇取得推進とあわせ、健康でやりがいを持って働ける環境づくりや各々の環境に合わせたメリハリのある働き方を推進しています。

川越初の女性市長 森田市長にインタビュー!!

令和7年2月に川越市初の女性市長が誕生してから約半年、森田市長が公務を通して感じたことや変化があったこと、男女共同参画に対する考えなどを伺いました。

市長に就任して



市長に就任してからの半年間はどのようなものでしたか？
公務を通じて感じたことを教えてください。

最初の数ヶ月間はすごく慌ただしかったです。多くの方々にお会いして、新しいことをたくさん教えていただいた中ですごく感じたのは、市長というのは、川越市に関するあらゆる情報が集まってくるポジションだということです。また、自分から情報を取りに行くこともできるので、手に入れた情報をどうやって活用するのかというところが、自分の一つの大きな責務だと感じています。

あとは、川越市の職員は、本当に一生懸命業務に取り組んでいるということが中に入ってよくわかりました。予算や時間的な制約があるなかで、多くの職員が市をより良くしたいという思いで公務に当たっているということを感じています。



市長は市民との対話を大切にされていますが、
市民の声を聴く中で大切にされていることや心がけていることはありますか？

裁判官時代から心がけていることですが、できるだけ先入観を持たずに相手の話を聞いて、その人の立場に立って考えることを常に意識しています。



家庭生活では、市長になってからどんな変化がありましたか？

家庭で過ごす時間が変わりました。夜間や土日祝日にも公務があるため、それが変化ですね。私が公務で家にいないときは、夫が家事を担ったり、あとは、じじとばばにも大活躍してもらったり、いろいろな人に助けてもらっています。



誰もが活躍できる環境づくりには仕事と生活の調和(ワークライフバランス)が重要ですが、
仕事と家庭を両立するうえで工夫していることはありますか？

自分の状況を、職場でも家でも理解してもらうように心がけています。あとは、自宅での空き時間に在宅ワークをするなどして何とかやりくりしています。確認しなければならない文書が大量にあるので、例えば、出張の移動時間や、家で朝ちょっと時間ができたときにやるとかですね。



忙しい中でもリラックスするために心がけていることや、趣味の時間について教えてください。

趣味の一つにお茶があるのですが、なかなか時間がとれていません。リラックスする方法は、気に入っている銘柄のノンアルコールビールを飲むこと、お風呂にゆっくり入ることとかかな。お風呂に1人で入れるときに至福です。

裁判官時代の経験について



裁判官時代、全国各地へ転勤があったとのことですが、
印象に残っていることがあれば教えてください。

裁判官時代、初任地が大阪だったのですが、食の文化が違うことが印象的でした。向こう(関西圏)の食事は出汁文化、こっち(関東圏)は醤油文化だと思うんですね。それで醤油味の団子が見つからなくて、すごく食べなくなりました。醤油味の素朴な食べものが少なくて、文化の違いを実感しました。

他にも、北海道にいた時は、雪がたくさん降るとか、寒いので家の造りが違うことが印象的でした。北海道で住んでいた家には備え付けのストーブがあって、外のタンクから自動で灯油が入るんです。なので、灯油を汲みに行かなくても、ストーブが使えて、冬はストーブで生活していました。

おらかな雰囲気など、地域によって培われてきた歴史がもたらす文化の違いも感じました。



前職と現職ともに女性割合が低い職場ですが、
その中でジェンダーギャップを感じた経験がありますか？

女性だから、男性だからということを感じた経験はなかったです。性別を理由に仕事の向き不向きや判断の傾向を言われたこともなかったです。

ただ、最高裁判所判事は、出身が裁判官、検察官、行政官、弁護士であるところ、裁判官出身の女性最高裁判事がまだ出ていないというのは少し残念に思っています。川越市も管理職に占める女性の割合が少ないということは、課題に感じています。



裁判官を目指すきっかけになった方はいますか。

法学部時代のゼミの先生が裁判官だったことと、司法修習で接した裁判官が素敵な方々だったので、それが裁判官を目指す動機になったと思います。

あと、法学部時代に法律事務所のインターンをしていた時に、担当していただいた弁護士が扱っていた刑事事件で、絶対に無罪だと思っていた事件があっさり有罪になりました。そこで、“決定をすることができる”というのはすごいことだと実感したんです。それは一つの大きな出来事でした。



「決定をする」という行為は市長という立場にも通ずるところがあると思いますが、そこはどのようにお考えですか。

あらゆる可能性を探った上で決断をするというプロセス自体は同じだろうと思っています。人の意見をないがしろにすると決断を失敗するということは裁判官時代に感じていましたし、一方で、人の意見に影響されて、一度決めたことを変えてしまうことも、すごく問題があるということを経験してきました。

男女共同参画について



常に公正な審理・判断を求められる裁判官の経験から、いまなお社会に根強く残る固定的性別役割分担意識についてどのようにお考えですか。

裁判官の経験からいうと、家庭裁判所で父と母のどちらが子どもの監護者や親権者になるかという争いの中では実態調査をすることがありますが、調査の結果、主たる監護者は女性であることがほとんどです。女性が社会進出するためには、男性も子育てにもっと参加して、子育てがちゃんと大事な経験として評価される社会になる必要があると考えています。



周囲から『女性だからこうすべきだ』とか、『女性には無理だ』といった言葉を受け、心が折れそうになった経験はありますか。

ありました。私が小さい頃は“女の子だから”と言われる時代だし、今回の市長選出馬を決めたときも、最初は「女性だからやめておけ」、「小さい子どももいるのに」、「男だったらいいけれども」と周りから言われたことがありました。でも、いざ決めて行動を起こすと、周りは応援してくれるということをすごく実感したので、同じように、女性だから男性だからと迷っている方がいれば応援したいです。



女性管理職の少なさの原因の一つとしてロールモデルの不足が挙げられますが、森田市長がロールモデルとした方はいますか？

裁判官の世界でも、女性の先輩はたくさんいて、家庭を持っていながらすごく活躍されている姿は励みになりました。そういう人がいたから頑張れたというのはありました。



本市の男女共同参画基本計画では、「一人ひとりが生き生きと暮らせる社会の実現」を掲げていますが、市長として特に力を入れたい取り組みや思いについてお聞かせください。

「一人ひとりが生き生きと暮らせる社会」というのはすごく理想的だと思います。それぞれが自分の持つポテンシャルを最大限発揮できるような街づくりをしたいし、それを妨げる障壁があれば行政が取り除いていくということが大事な仕事だと思っていますね。そういう意味では、家庭を理由にやりたいことが十分にできていない状況にある女性を支援していきたいと考えています。

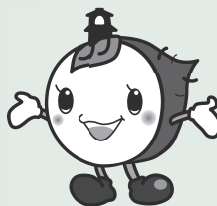


最後に...



**今後、市民へ向けてどんなメッセージを伝えたいですか？
また、市政運営への意気込みなどもぜひお聞かせください。**

新しいステージの川越を皆さんと一緒に作っていただけたらいいなと思います。



森田市長
貴重なお話をありがとうございました。

インタビューを終えて

今回のインタビューを通じて、森田市長の市政への熱意と未来への展望が伝わってきました。私たち職員も、市長と共に力を合わせ、一人ひとりが生き生きと暮らせる川越市の実現に向けて施策を推進してまいります。



令和7年度男女共同参画市民フォーラムを開催しました

令和7年6月28日(土)に、川越市男女共同参画推進施設(ウェスタ川越)において、南 美詠子先生(エム・アイ・システム代表)をお迎えし、日々の生活の中で誰もが感じるイライラや怒りの感情について理解を深めるためワークを交えた講演をしていただきました。

テーマ「アンガーマネジメントから学ぶ「上手な気持ちの伝え方」」 ～大切な人と幸せな関係を築くために～

講師：エム・アイ・システム代表 南 美詠子さん(アンガーマネジメントコンサルタント)

アンガーマネジメントとは、1970年代アメリカで開発された、怒りとうまく付き合うための心理トレーニングです。怒りは人間を含めた全ての動物に備わる自然な感情であるため、なくすことは不可能です。ただし、日常生活でのちょっとした心がけで、上手に怒りと付き合うことができます。

→当日は様々なワークを通じて、参加者同士で交流を深めていただきました。



●わたしたちが怒りを感じる場面とは？

社会環境や生育環境で身についた自分の中にある理想や期待、信条、信念、こだわりといった
“こうある「べき」”という理想や期待が裏切られた時

例)部下が、欠勤連絡を同僚にLINEで行った。

上司：欠勤の連絡は上司に電話ですべき。

部下：欠勤の連絡はLINEするのが効率的。

そのほかにも、わたしたちが抱くマイナスな感情(つらい・悲しい・苦しい)なども怒りを助長させる要因となります。

お互いが「自分が正しい」と思っている状況。

POINT

怒りと上手に付き合っていくためのポイント

	対応方法	期待できる効果
1	日常生活でプラスの感情(うれしい・楽しい)を増やす	マイナスな感情が減少し、怒りの強度や持続性を下げることができます
2	怒りを感じたら、6秒間待つ	ついカッとなってしまうこと(衝動的な怒り)を防ぎ、理性的に物事を考えることができます
3	相手に自分の想いが伝わるような表現方法を心がける 例「遅いんだよ」と伝える場合 → 私は時間通りに来てほしかった	相手も価値観を押し付けられたと感じなくなり、相手からの理解や納得を得られやすくなります
4	相手の話に最後まできちんと耳を傾ける(話を途中で遮らない、否定しない、相槌を打つ)	傾聴する姿勢を相手に示すことで、相手も「受け止めてもらえた」という安心感を持ち、お互いが相手の意見や考えに耳を傾けようとする関係性を築けます

男女共同参画推進施設 貸出図書のご紹介

川越市男女共同参画推進施設(ウェスタ川越3階)の交流サロンでは、男女共同参画関連図書を置いています。1人2冊まで2週間の貸し出しができます。

今回は、6月に開催した市民フォーラムのテーマ「アンガーマネジメントから学ぶ上手な気持ちの伝え方」にちなんで書籍を2冊ご紹介します。



タイトル 「怒り」が消える心のトレーニング 図解アンガーマネジメント超入門
著 者 安藤俊介
出 版 社 ディスカヴァー・トゥエンティワン
内 容 「怒りをコントロールすることで人生が楽になる」と説く本書は、日本アンガーマネジメント協会推薦のベストセラー特装版です。アンガーマネジメントは、心のトレーニングとして、スポーツや仕事、人間関係などあらゆる場面で役立ちます。本書は豊富な図解とマンガを用いて初心者でも理解しやすく、実践的な内容となっています。



タイトル 夫婦・カップルのためのアサーション 自分もパートナーも大切にする自己表現
著 者 野末武義
出 版 社 金子書房
内 容 本書は、日常のコミュニケーションを通じて夫婦やカップルの関係を改善する方法を解説しています。自分とパートナーの両方を大切にする自己表現法を紹介し、夫婦・カップルが直面する問題や悪循環を理解して、より良い関係を築くための具体的な手法がわかりやすく説明されています。

日時 令和7年12月6日(土)

会場 川越市立中央図書館 視聴覚ホール

定員 80人 応募多数の場合は抽選(参加無料)
申し込み開始は10月中旬を予定

13:00開会予定



©ストームピクチャーズ

上映

映画「じょっぱり 看護の人 花田ミキ」



青森県の伝説の人物、花田ミキ。看護に命をかけた波乱万丈の生き様を映画化。
「保健と看護」に命をささげた青森の女の生涯を描く!

★第21回国際赤十字・健康映画祭赤十字特別賞受賞作品

講演 第1部

「命の恩人を撮る
ー看護の人花田ミキの生涯」

講師 映画監督 五十嵐 匠 氏

講演 第2部

「川越市保健師活動の過去、現在、そして未来へ」

講師 川越市役所の保健師

パネル展示

保健師活動、男女共同参画、川越市女性団体連絡協議会に関する展示を行う予定です。

ウェスタ川越の多彩な講座をご紹介します



ウェスタ川越では年間約60講座、回数にするとおよそ200回の講座を開催しています。中でも男女共同参画講座は、資格取得などの就労支援のための講座から小学生向けのアートワークショップまでバラエティに富んでいます。彩り豊かな講座の魅力を知っていただけるように講座の様子や取り組みをみなさんにご紹介します!

宅建、簿記、医療事務などの資格取得、そしてTOEIC®講座は講師の質や教材の豊富さで抜群の安定感があります。毎年多くの方が検定合格や高得点取得を目指して頑張っているらしいです。テキスト代や受験料があらかじめ受講料に含まれる講座が多く、その点も気軽に受講できるポイントです!

日々の充実に欠かせない運動や趣味、自己啓発を促進する講座もたくさんあります。姿勢改善プログラムや自律神経ケア講座は、自分で不調をいたわるきっかけにもなりリピーターの方も多くいらっしやいます。写経講座やデッサン画教室では講師がいてねいに論評や添削をするので、みなさん上達を楽しみに通っているらしいです。また、スキルだけではなく表現を通して自分を見つめる時間としても最適です。

その他にも、映画や美術などの文化を通してジェンダーについて考えたり、心の傷を回復させるためのヒントを探したり、いつ起きてもおかしくない地震や水害に備えるためのポイントを学んだり、無料でお気軽に参加できる講座もとても深い知識につながります。

あらたな学びをここから・・・お待ちしております!

講座一覧・申し込みは
Webから



講座問い合わせ

メール entry@westa-kawago.jp

TEL 049-249-1186 *お電話でのお申し込みは承っておりません。



～小さな悩みも一緒に考えていきましょう～

女性相談

家庭生活、夫婦関係など

月～金曜日(祝日・年末年始を除く)
9:00～17:00

川越市役所 男女共同参画課
☎049-224-5723

予約制

カウンセリングルーム

女性のこころの悩み、セクハラなど

第2・第4木曜日(祝日・年末年始を除く)
10:00～16:00 / 予約制

ウェスタ川越 男女共同参画推進施設
※予約は川越市役所 男女共同参画課
☎049-224-5723

男性のための電話相談

男性の臨床心理士が対応します

第1・第3日曜日
11:00～15:00

埼玉県男女共同参画推進センター
With Youさいたま
☎048-601-2175

DV相談

一人で悩まず、まずは、ご相談ください

月～金曜日(祝日・年末年始を除く)
9:00～17:00

年齢・性別を問わず相談に応じています
川越市配偶者暴力相談支援センター
(川越市役所 男女共同参画課)
☎049-224-5723

さまざまな悩み

月～水曜日、金曜日、土曜日 9:30～20:30 / 日曜日、休日・祝日 9:30～17:00(木曜日、年末年始を除く)
埼玉県男女共同参画推進センター With Youさいたま ☎048-600-3800

埼玉県女性・DVチャット相談「たまチャ」

日曜日・水曜日・金曜日 15:00～21:00(年末年始を除く)
相談は、ホームページから
(https://www.pref.saitama.lg.jp/a0309/dv-soudan/dv_soudan_webchat.html)

DVに関する相談

月～水曜日、金曜日、土曜日 9:30～20:30 / 日曜日、休日・祝日 9:30～17:00(木曜日、年末年始を除く)
埼玉県配偶者暴力相談支援センター
(埼玉県男女共同参画推進センター With Youさいたま) ☎048-600-3700

DV、ストーカーに関する総合相談

24時間(365日)
埼玉県警察本部けいさつ総合相談センター ☎#9110

緊急の場合は
110番へ

DV相談^{プラス}

24時間(365日)(電話・プラス相談箱)、12:00～22:00(チャット相談)
内閣府・一般社団法人 社会的包摂サポートセンター ☎0120-279-889
プラス相談箱・チャット相談はホームページから (<https://soudanplus.jp>)

職場におけるハラスメントに関する相談

月～金曜日 8:30～17:15(祝日・年末年始を除く)
埼玉労働局指導課 ☎048-600-6269

にじいろ県民相談 (埼玉県性的マイノリティ県民相談)

毎週土曜日 18:00～22:00(最終受付は21:30)(年末年始を除く) ☎0570-022-282
LINE相談 LINEアプリで「埼玉県」に「にじいろ県民相談」を検索してください。

よりそいホットライン

24時間(365日)
一般社団法人 社会的包摂サポートセンター ☎0120-279-338
※DV等女性の相談はガイダンスにそって3を、性的マイノリティの相談は4を押してください。

イーブン

(川越市男女共同参画情報紙)

発行日：令和7年9月
発行：川越市男女共同参画課
〒350-8601 埼玉県川越市元町1-3-1 TEL 049-224-5723 FAX 049-224-6705
印刷：六三四堂印刷株式会社

過去のイーブンはこちらでご覧いただけます▶

